

令和3年度『特色ある学校づくり推進事業』実践事例報告

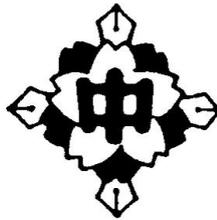
佐世保市立柚木中学校

佐世保市柚木町2063番地

校長 埋ノ江章

生徒数 101名

学級数 4学級



【JRC加盟校】

1 学校努力目標と重点努力事項

本校教育目標『心豊かで自ら学ぶ たくましい生徒の育成』の具現化を目的とする。

① 豊かな心の育成

互いに認め合い、支え合いながら
育みたい互いに思いやる心

② 学習の創造と定着

「学び合い」を授業の根底に据えた

③ 人権教育の推進

かけがえのない命を大切に、個性
を認め合う関係性を育む

④ 生徒指導の充実

個別理解の充実と個に応じた手立
てや対応の充実を図る

⑤ 特別支援教育の充実

インクルーシブ教育の推進

⑥ 健康で安全な生活の推進

生徒の成長発達段階を十分に考慮
した、無理のない取組

2 特色ある学校づくり推進事業の目的

学校教育目標の具現化を目指し、重点努力事項を手立てとして、今年度は以下の目的で特色ある学校づくりに取り組みました。

(1) 学力向上の推進

- 本校、研究主題「自分の考えを自分の言葉で表現できる力を育てる授業づくり」を掲げ、互いに学習の場面におけるコミュニケーション能力を基盤とした思考力や表現力の向上を目指し、全教科共通実践事項を作成し、研究授業を行い、互いに授業を見合い、授業改善に努めることで、生徒の学力向上につなげる。

(2) 豊かな心の育成

- 1人1プランターで花を育てる活動において、豊かな心を育成する。
- 月ごとに俳句、短歌を作成し、新聞社に投稿し、作品が掲載される経験を通して、自己肯定感を高めさせるとともに、表現力の向上につなげる。

(3) 人とともに生きる力の育成

- 全校人権セミナーを実施し、管理職を含め全職員が人権教育に関する講座を開設する。生徒には、探求したいテーマに基づいてコースを選択させ、多様な人権課題についての知識を得させるとともに、人権学習を通して豊かな心を育成する。また、人権集会において、人権学習で学んだことを全校生徒で共有し、学びを深める機会とする。
- アソビのバラ園の整備等により平和、人権に対する生徒の意識と態度の向上を図る。
- 年間行事カレンダーおよび学校だよりを作成し、保護者や地域に広く配布し、学校教育活動に対する理解と協力を得るための効果的な手立てとする。

(4) その他の活動

- 地域について学び、これから自分たちにできることを考え、実行することで、郷土愛を育てる。

3 本校の伝統

柚木精神『校門の第一歩は学習の第一歩』を受け継ぎ、登下校の折に校門前で足を止め、校舎に向かって一礼をしています。『校風を受け継いでいこう』と生徒会活動の一環として行われているものです。生徒会・育友会で作成した一校一徳運動スローガンをもとに、あいさつの習慣化、親子のコミュニケーションづくりに取り組んでいます。

また、昨年度からは新型コロナウイルス感染症の予防のため活動はできませんでしたが、平成29年度に加盟した青少年赤十字の活動の一環として、地域公民館まつりへの協力などのボランティア活動にも積極的に参加し、社会性や奉仕の精神を育む取り組みを行っています。

このように、恵まれた自然環境と地域環境を学校教育に取り入れ、地域と一体となって心身共にたくましい生徒の育成に取り組んでいます。



【柚木中精神の石碑】



【あいさつ運動】



【一校一徳運動のスローガン】

4 実践内容

(1) 学力向上の推進

①「授業改善」研究実践の取組

今年度は、「自分の考えを自分の言葉で表現できる力を育てる授業づくり」を研究テーマに掲げ、研究を進めてきました。下記に示す、全教科共通の実践事項を作成し、日々の授業実践を行った。また、全職員年間1回、研究授業を行い互見をすることで、授業改善に取組、生徒の学力向上に努めました。

- 1 机の高さをそろえる。
- 2 学習規律の取組を徹底する。
- 3 「めあて」の提示と「まとめ」を行う。
- 4 生徒のグループ学習につながる課題を設定する。
- 5 特別支援教育の視点で授業を行う。
- 6 生徒同士が言葉でつながる場（学び合い、高め合う場）を設定し、学習を深める。
- 7 生徒の学習意欲と自己肯定感を向上させるような声かけを心がける。



【授業の様子】

②個人成績表「まなびの記録」の作成

各テスト終了後には、各教科からのコメントやアドバイスを成績表に保存し、学びの足跡として確かめさせ、次のテストに活かせるようにしています。



【学びの記録】

(2) 豊かな心の育成

① 1人1プランターによる豊かな心の教育の推進

花の苗の植え付けを年2回、水やりは専門部の活動の一環として当番で行いました。生徒自身のプランターで花を育てることを通して生命の大切さを学びました。

② 俳句、短歌の創作活動

月ごとに俳句、短歌を創作し、新聞社や宮内庁に投稿しました。作品が新聞等に掲載され、表現力の向上につながることができました。

主な受賞

長崎新聞社ジュニア俳壇年間賞（3年生）



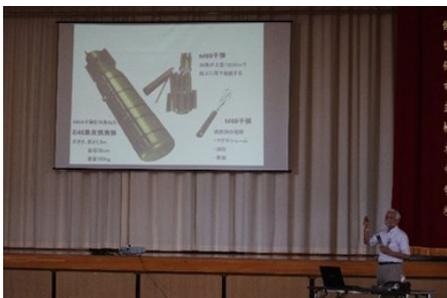
【1人1プランター活動】

(3) 人とともに生きる力の育成

① 平和教育

6月29日の佐世保空襲の日に平和集会を行いました。佐世保空襲を語り継ぐ会から酒見莞爾先生をお招きして、「佐世保空襲」について、空襲に関する教材の視聴とともに、佐世保空襲の実相と被害の様子等についてのお話を聞きました。生徒は被害の様子や悲惨さを学び、平和の大切さ、命の尊さを実感し、明るい未来をめざして、一人一人が積極的に行動していくことの大切さを学び深めることができました。

また、8月9日の平和集会は、新型コロナウイルス感染症対策として、リモートで実施しました。原爆の悲惨さや平和について、平和実行委員会を中心にまとめたものを発表したり、「私たちの平和宣言文」を作成し、発表したりしました。



【6月29日 平和集会】



【8月9日 リモートでの平和集会の様子】

② 人権集会、人権セミナー

職員それぞれが人権に関する講座を開設し、生徒が選択して受講する形式の人権セミナーを実施しました。主体的に人権問題について学ぶことで、命の尊さやお互いに助け合うことの大切さを学習しました。人権集会では、新型コロナウイルス感染症に対する生徒たちの事前のアンケートを基に、見えない恐怖や不安の向き合い方、誹謗中傷や差別のない人間関係の在り方を学び、人権意識を高めました。



【人権セミナー】



【人権集会】

(4) その他の活動

① 職業インタビュー【2年生】

コロナ禍でありましたので、地域の方々のご協力を得て、各事業所に15分程度訪問して、職業インタビューを実施しました。職業に対するやりがいや苦勞などを聞くことにより、職業観を深めることができました。2年生の学習は、1年生の職業調べ、3年生の進路選択につながるものであり、貴重な体験となりました。



【職業インタビュー】

② 伝統文化体験学習【3年生】

講師の先生方2名をお招きし、中学3年生を対象に、茶道教室を実施しました。茶花やお茶碗の鑑賞、おもてなしの心、所作などを学ぶことで日本独自の文化の継承の大切さについて学びました。



【伝統文化体験学習 茶道教室】

③ 柚木ホテルの里づくりに学ぶ【2年生】

柚木地区自治会長永瀨秀雄様を講師としてお招きして、柚木地区にホテルが生息するまでの苦勞ややりがい、柚木地区の団結力の強さ等のお話を伺いました。お話を聞くことで、自分たちの地域を自分たちで守り、いつまでもホテルが生息する地域を目指して、一人一人が生活することが大切であること等を学びました。また、学んだことを、各班それぞれ、絵本やすごろく等でまとめたり、キーホルダー制作をして表現したりする等、工夫ある作品を制作して発表をしました。さらに、発表の様子を一人一台端末を用いて、家庭で保護者とともに視聴できるようにしました。



【ホテルの里づくりに学ぶ】



【すごろくや絵本】



【キーホルダー】